



Japanese Congress
for Infrastructure Management

Fact Book

2020-2021

インフラメンテナンス国民会議
ファクトブック



インフラメンテナンス国民会議

インフラメンテナンス国民会議とは

インフラは豊かな国民生活、社会基盤を支える基盤です。老朽化するインフラが急増するなかで、施設管理者は限られた予算のなかで対応しなければなりません。そのため、インフラメンテナンスを効率的、効果的に行う体制を確保する必要があります。

また、豊かな国民生活を送る上でインフラメンテナンスは国民一人ひとりにとって重要なものです。

そこで、インフラを良好な状態で持続的に活用するために、産学官民が一丸となってメンテナンスに取り組む社会の実現に向けて、インフラメンテナンスの理念の普及、課題の解決及びイノベーションの推進を図り、活力ある社会の維持に寄与することを目的に平成28年11月に「インフラメンテナンス国民会議」は設立しました。

インフラメンテナンス国民会議の目的

- 1 革新的技術の発掘と社会実装
- 2 企業等の連携の促進
- 3 地方自治体への支援
- 4 インフラメンテナンスの理念の普及
- 5 インフラメンテナンスへの市民参画の推進



インフラメンテナンス国民会議について	01
沿革	01
活動の拡がり	02
推進体制	03
主要な活動	06
令和2年度 インフラメンテナンス国民会議総会	07
社会インフラテック Online 2020	07
インフラメンテナンス大賞表彰式	08
第4回インフラメンテナンス大賞受賞者	09
公認フォーラム(中央フォーラム)	10
革新的技術フォーラム	10
自治体支援フォーラム	11
技術者育成フォーラム	11
市民参画フォーラム	12
海外市場展開フォーラム	13
公認フォーラム(地方フォーラム)	14
北海道フォーラム	15
東北フォーラム	18
関東地方フォーラム	20
北陸インフラメンテナンスフォーラム	21
中部フォーラム	22
近畿本部フォーラム	23
「ちゅうごく」(中国フォーラム)	27
四国 地方フォーラム	29
九州フォーラム	31
沖縄フォーラム	32

インフラメンテナンス国民会議について

沿革

平成24年	7月25日	国土交通大臣から社会資本整備審議会会長及び交通政策審議会会長あて「今後の社会資本の維持管理・更新のあり方について」の諮問
	7月31日	第9回社会資本整備審議会・交通政策審議会技術分科会技術部会(以下 技術部会)・社会資本メンテナンス戦略小委員会の設置
	12月2日	中央自動車道笹子トンネル天井板落下事故
平成25年		「社会資本メンテナンス元年」として位置付け
	1月21日	社会資本の老朽化対策会議 設置
	1月30日	社会資本メンテナンス戦略小委員会緊急提言 「本格的なメンテナンス時代に向けたインフラ政策の総合的な充実～キックオフ「メンテナンス政策元年」～」(大臣への手交)
	3月21日	社会資本の老朽化対策会議 ・「社会資本の維持管理・更新について当面講ずべき措置」決定
	5月30日	「今後の社会資本の維持管理・更新のあり方について」中間答申(大臣への手交)
	10月4日	インフラ老朽化対策の推進に関する関係省庁連絡会議 設置
	11月29日	インフラ老朽化対策の推進に関する関係省庁連絡会議 ・「インフラ長寿命化基本計画」決定
	12月25日	「今後の社会資本の維持管理・更新のあり方について」答申
平成26年	5月21日	社会資本の老朽化対策会議 ・「国土交通省インフラ長寿命化計画(行動計画)」決定
平成27年	2月27日	技術部会「社会資本のメンテナンス情報に関わる3つのミッションとその推進方策」提言 ・インフラメンテナンス国民会議(仮称)の設置 等提言
	6月30日	「日本再興戦略改訂2015-未来への投資・生産性革命-」閣議決定 ・インフラメンテナンス国民会議(仮称)の設立 位置付け
	11月27日～ 12月16日	インフラメンテナンス国民会議(仮称)の設立に向けた意見交換会(第1回)の実施 ・約80の企業・団体から意見をヒアリング
平成28年	4月15日～ 4月27日	インフラメンテナンス国民会議(仮称)の設立に向けた意見交換会(第2回)の実施 ・国民会議の青写真をもとに約70の企業・団体と意見交換
	6月2日	「日本再興戦略2016-第4次産業革命に向けて-」閣議決定 ・インフラメンテナンス国民会議(仮称)の設置 位置付け
	7月29日	政務官勉強会提言 ・「インフラメンテナンスの加速化」提言 ・インフラメンテナンス国民会議(仮称)の創設 位置付け
	6月2日～ 9月29日	インフラメンテナンス国民会議(仮称)の設立に向けた準備会の実施 ・国民会議の運営に参加したい企業・団体と、具体的な組織や実施事項について検討開始 ・各種部会、フォーラム準備会により、検討内容、進め方等について議論(延べ11回開催)
	11月28日	インフラメンテナンス国民会議設立
平成29年	7月24日	平成29年度インフラメンテナンス国民会議総会(第1回インフラメンテナンス大賞表彰式と同日開催)
平成30年	4月	全国10地域で地方フォーラムが設立
	8月9日	第2回インフラメンテナンス大賞表彰式
	12月6日	平成30年度インフラメンテナンス国民会議総会(社会インフラテック2018開会式と同日開催)
令和元年	11月7日	第3回インフラメンテナンス大賞表彰式開催
	12月4日	令和元年度インフラメンテナンス国民会議総会(社会インフラテック2019ステージにて開催)
令和3年	1月8日	第4回インフラメンテナンス大賞表彰式開催 令和2年度インフラメンテナンス国民会議総会(メール開催)

活動の拡がり

会員は、国民会議の趣旨に賛同して十分な意欲を持って活動に参画していただける企業、団体、行政機関(国を除く)又は個人による正会員とし、正会員については、入会の手続きを経て会員の資格を取得することとしています。

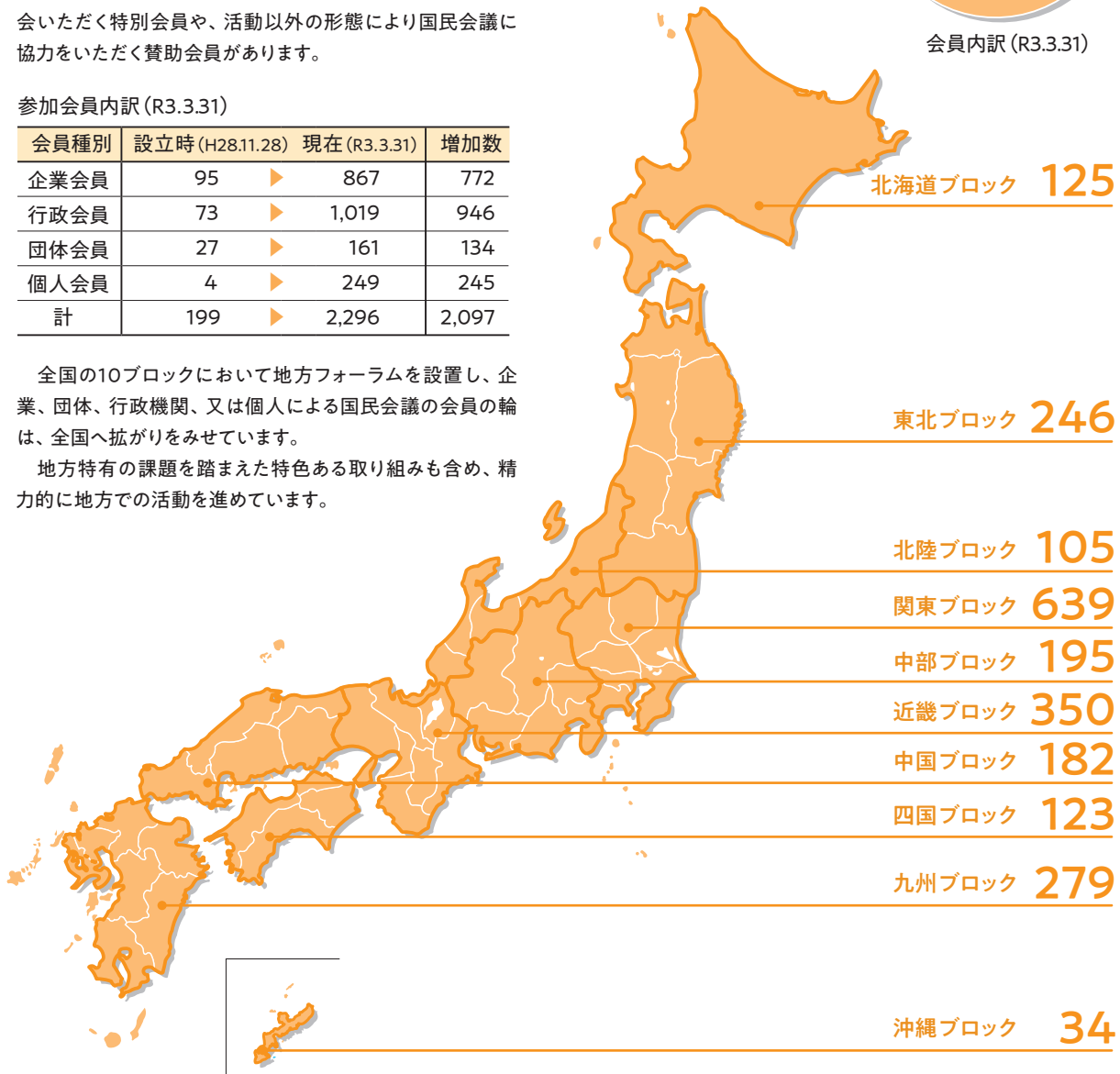
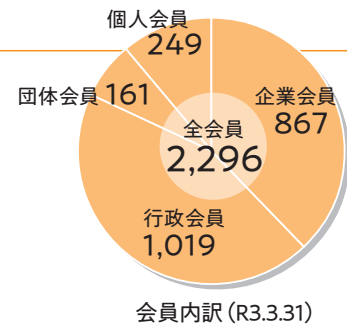
そのほか、国民会議運営のために会員の推薦によりご入会いただく特別会員や、活動以外の形態により国民会議に協力をいただく賛助会員があります。

参加会員内訳 (R3.3.31)

会員種別	設立時(H28.11.28)	現在(R3.3.31)	増加数
企業会員	95	867	772
行政会員	73	1,019	946
団体会員	27	161	134
個人会員	4	249	245
計	199	2,296	2,097

全国の10ブロックにおいて地方フォーラムを設置し、企業、団体、行政機関、又は個人による国民会議の会員の輪は、全国へ拡がりをみせています。

地方特有の課題を踏まえた特色ある取り組みも含め、精力的に地方での活動を進めています。



記載無し 17 海外 1

地方ブロック毎 会員数内訳

会員種別	北海道	東北	関東	北陸	中部	近畿	中国	四国	九州	沖縄	海外	記載無し	合計
企業会員数(本社ベース)	56	75	334	48	72	116	59	31	63	12	1	0	867
行政会員数	59	128	141	40	97	174	97	77	189	17	0	0	1,019
団体会員数(連絡先ベース)	2	19	67	9	11	22	8	8	11	4	0	0	161
個人会員数(連絡先ベース)	8	24	97	8	15	38	18	7	16	1	0	17	249
合計	125	246	639	105	195	350	182	123	279	34	1	17	2,296

推進体制

国民会議の活動については、国民会議の趣旨に賛同し活動に意欲のある企業、研究機関、施設管理者、市民団体等の会員にメリットのある活動を会員の主体的な運営により行うこととし、会員により構成される実行委員会、各部会、各フォーラム企画委員会を設け、運営を行います。

総会 国民会議 会員(令和3年3月31日時点) 2,296者(企業867、行政1,019、団体161、個人249)

会長



富山 和彦
株式会社経営共創基盤
IGPIグループ会長
株式会社
日本共創プラットフォーム(JPIX)
代表取締役社長

副会長



家田 仁
政策研究大学院大学 教授

実行委員会 国民会議全体の運営

■実行委員

- | | | |
|-------------------------------|-------------------------|------------------------|
| 阿部 雅人
(株)ピーエムシー | 片岡 信之
(一社)国土政策研究会 | 高山 保
バイオニア(株) |
| 岩城 一郎
日本大学 | 川口 正人
日本製鉄(株) | 田子 裕子
大日本印刷(株) |
| 岩佐 宏一
(公社)日本ファシリティマネジメント協会 | 熊倉 信行
東芝環境ソリューション(株) | 田村 裕美
(一社)ソーシャルテクニカ |
| 大石 健二
パシフィックコンサルタンツ(株) | 小林 大
大日本コンサルタント(株) | 羽鳥 徹
富士ゼロックス(株) |
| 大島 邦彦
(株)熊谷組 | 笹谷 達也
日鉄高炉セメント(株) | 皆川 勝
東京都市大学 |
| 太田 勉
(株)富士交通・道路データサービス | 沢田 和秀
岐阜大学 | 吉田 典明
日本工営(株) |
| 大堀 正人
(株)日立ソリューションズ | 鈴木 泉
(株)ガイアート | 若木 和雄
日進工業(株) |
| 奥田 早希子
(一社)Water-n | 高橋 千里
(同)スマートウォーター | |

公認フォーラム

革新的技術 フォーラム

オープンイノベーションによる異業種の連携や技術の融合、マッチング

- リーダー
木村 康博
国土交通省
- 企画委員
岩佐 宏一
(公社)日本ファシリティマネジメント協会
大堀 正人
(株)日立ソリューションズ
高山 保
バイオニア(株)
羽鳥 徹
富士ゼロックス(株)
笹谷 達也
日鉄高炉セメント(株)
秋本 雅司
(株)島津製作所
山本 康弘
能美防災(株)
熊倉 信行
東芝環境ソリューション(株)
杉崎 光一
(株)ピーエムシー
小沼 恵太郎
パシフィックコンサルタンツ(株)
瀬崎 真一
(株)日立製作所
横山 敦史
(株)日立製作所
菅野 智行
(株)日立製作所
小林 大
大日本コンサルタント(株)
柳 悦孝
日本製鉄(株)
松本 一城
国土交通省
吉開 亮一
国土交通省

自治体支援 フォーラム

自治体の課題解決、自治体のニーズ・民間企業等のノウハウの情報交換

- リーダー
木村 康博
国土交通省
- 企画委員
岩佐 宏一
(公社)日本ファシリティマネジメント協会
大島 邦彦
(株)熊谷組
片岡 信之
(一社)国土政策研究会
熊倉 信行
東芝環境ソリューション(株)
鈴木 泉
(株)ガイアート
高橋 千里
(同)スマートウォーター
高山 保
バイオニア(株)
吉田 典明
日本工営(株)
小長井 彰祐
国土交通省
五十嵐 俊一
国土交通省
吉開 亮一
国土交通省
本庄 謙太
国土交通省

技術者育成 フォーラム

地域における技術者育成の活動を支援

- リーダー
鈴木 泉
(株)ガイアート
- 企画委員
渡邊 大介
(株)ガイアート
岩佐 宏一
(公社)日本ファシリティマネジメント協会
足立 忠郎
社会基盤ライフサイクルマネジメント研究会
小長井 彰祐
国土交通省
松本 一城
国土交通省
吉武 竜馬
国土交通省
吉開 亮一
国土交通省
本庄 謙太
国土交通省

市民参画 フォーラム

インフラやメンテナンスへの関わりを深めるための実践活動を展開

- リーダー
岩佐 宏一
(公社)日本ファシリティマネジメント協会
- 企画委員
有岡 正樹
シビルNPO連携プラットフォーム
世古 一穂
NPO研修・情報センター
鈴木 泉
社会基盤ライフサイクルマネジメント研究会
皆川 勝
東京都市大学
小林 大
大日本コンサルタント(株)
駒田 智久
土木学会シビルNPO推進小委員会
比奈地 信雄
土木学会シビルNPO推進小委員会
三井 元子
あらかわ学会
足立 忠郎
社会基盤ライフサイクルマネジメント研究会

海外市場展開 フォーラム

海外への情報発信や海外展開案件形成

- 企画委員
川村 謙一
国土交通省
中村 祐司
(株)アイ・エス・エスグループ
古澤 靖久
あずさ監査法人(KPMG)
香川 将美
インデックスコンサルティング
大島 邦彦
(株)熊谷組
橋詰 健
建設プロジェクト運営方式協議会
中川 均
(公社)日本ファシリティマネジメント協会
川村 正夫
(公社)日本ファシリティマネジメント協会
小沼 恵太郎
パシフィックコンサルタンツ(株)
内藤 誠司
パシフィックコンサルタンツ(株)
永瀬 恭一
(株)フジタ

推進体制

企画部会 インフラメンテナンスに関する企画等

■部会長

木村 康博 国土交通省

■幹事

箱田 厚 国土交通省
吉田 典明 日本工営(株)

■部会委員

阿部 雅人 (株)ピーエムシー
大石 健二 バシフィックコンサルタンツ(株)
大島 邦彦 (株)熊谷組
熊倉 信行 東芝環境ソリューション(株)
小林 大 大日本コンサルタント(株)
鈴木 泉 (株)ガイアート
高橋 千里 (同)スマートウォーター

高山 保 バイオニア(株)
田村 裕美 (一社)ソーシャルテクニカ
小長井 彰祐 国土交通省
五十嵐 俊一 国土交通省
吉開 亮一 国土交通省
本庄 謙太 国土交通省

広報部会 インフラメンテナンスの理念普及、国民会議の広報

■部会長

小林 大 大日本コンサルタント(株)

■幹事

田子 裕子 大日本印刷(株)

■部会委員

永田 善裕 リノブリッジ(株)
土田 智 (株)福山コンサルタント
那珂 通大 ニチレキ(株)
高橋 至 国土交通省

吉開 亮一 国土交通省
本庄 謙太 国土交通省

地方フォーラム (詳細は次ページ参照)

1 北海道 フォーラム	2 東北 フォーラム	3 関東地方 フォーラム	4 北陸インフラ メンテナンス フォーラム	5 中部 フォーラム
6 近畿本部 フォーラム	7 「ちゅうごく」 (中国フォーラム)	8 四国地方 フォーラム	9 九州 フォーラム	10 沖縄 フォーラム



国(国土交通省および関係省庁)

1 北海道フォーラム

- リーダー**
横田 弘 北海道大学大学院工学研究院
- 企画委員長**
栗田 悟 (一社)北海道建設業協会
- 企画委員**
岡本 淳敏 (株)勇建設(株)
北見 実敏 (株)伊藤組土建(株)
河村 巧 (株)岩田地崎建設(株)
小野 雅晴 (株)エスエイシー
横山 隆 (株)開発工営社
池田 憲二 (株)構研エンジニアリング
伊藤 捨雄 (株)コンクリート鋼構造物超耐久化工法研究会
中里 修二 (株)サンエスホールディングスグループ
工藤 理恵子 (株)積水ハウス(株)
佐々木 雅史 (株)ダイヤコンサルタント
深見 純 (株)ティーンネットジャパン
向井 直樹 (株)ドーコン
阿部 幸康 (株)土木技術コンサルタント
大石 学 (株)中山組
高橋 守人 (株)西江建設(株)
小山 教 (株)西松建設(株)
市川 浩 (株)ニチレキ(株)
沼田 寛 (株)ノース技研
青野 純一 (株)北電総合設計(株)
高宮 則夫 (株)北海道技術コンサルタント
南 真樹 (株)南組
- オブザーバー**
大堀 正人 (株)熊谷組
高橋 千里 (同)スマートウォーター

2 東北フォーラム

- リーダー**
石川 雅美 東北学院大学
- 企画委員長**
遠藤 敏雄 (株)復建技術コンサルタント
- 企画委員**
小野 泰太郎 (株)小野建築研究所
佐々木 茂隆 (株)小野工業所
阿部 裕彰 (株)鹿島建設(株)
新銀 武 (株)中央コーポレーション
赤羽 修 (株)ニチレキ(株)
林 昭宏 (株)フジタ
金子 雅明 (株)パシフィックコンサルタンツ(株)
- オブザーバー**
阿部 雅人 (株)ビーエムシー
高橋 千里 (同)スマートウォーター
大石 健二 (株)パシフィックコンサルタンツ(株)

3 関東地方フォーラム

- リーダー**
村越 潤 東京都立大学
- 企画委員**
平野 圭 (株)クリエート
柳澤 正和 (株)赤城商会
黒田 卓也 (株)オムロンソーシアルソリューションズ(株)
江藤 靖彦 (株)前田建設工業(株)
関屋 隆司 (株)フジタ
鈴木 健彦 (株)八千代エンジニアリング(株)
高馬 克治 (株)ニチレキ(株)
高橋 千里 (同)スマートウォーター
小林 大 (株)大日本コンサルタント(株)
穴 甘 康広 (株)富士通(株)
黒木 幹 (株)福山コンサルタント
春山 俊仁 (株)福山コンサルタント
木下 史朗 (株)木下建工(株)
栗田 有紀子 (株)東急建設(株)
若木 和雄 (株)日進工業(株)
- オブザーバー**
高山 保 (株)バイオニア(株)
田子 裕子 (株)大日本印刷(株)
羽鳥 徹 (株)富士ゼロックス(株)

4 北陸インフラメンテナンスフォーラム

- リーダー**
丸山 久一 長岡技術科学大学
- 新潟ブロックリーダー**
佐伯 竜彦 新潟大学
- 富山・石川ブロックリーダー**
宮里 心一 金沢工業大学
- 企画委員**
嶋田 浩一 (株)熊谷組
川島 明 (株)ニチレキ(株)
若尾 明弘 (株)エヌシーイー(株)
湯川 雅昭 (株)三和ボーリング(株)
木下 史朗 (株)木下建工(株)
小林 康裕 (株)レックス
田村 康樹 (株)開発技建(株)
初鹿 明 (株)大日本コンサルタント(株)
笹谷 輝彦 (株)国土開発センター
浦田 孔二 (株)日本海コンサルタント
- オブザーバー**
大島 邦彦 (株)熊谷組
鈴木 泉 (株)ガイアート
熊倉 信行 (株)東芝環境ソリューション(株)

5 中部フォーラム

- リーダー**
原田 和樹 玉野総合コンサルタント(株)
- 企画委員**
細江 育男 大日コンサルタント(株)
安藤 誠 (株)オリエンタルコンサルタンツ
安立 寛 (株)オリエンタルコンサルタンツ
那須 聖志郎 大日コンサルタント(株)
杉原 啓介 大日コンサルタント(株)
榮 義彦 玉野総合コンサルタント(株)
鈴木 正樹 中央コンサルタンツ(株)
東山 泰治 中央コンサルタンツ(株)
中村 浩二 戸田建設(株)
伊藤 貴宏 戸田建設(株)
田中 伸介 (株)ニチレキ(株)
山本 康博 (株)ニチレキ(株)
吉田 典明 (株)日本工営(株)
橋爪 信昭 (株)フジヤマ
海野 剛司 (株)フジヤマ
青島 健 (株)フジヤマ
水津 紀陽 (株)八千代エンジニアリング(株)
伊藤 均 (株)八千代エンジニアリング(株)
森 雅俊 (株)ホームテックス(株)
古澤 栄二 (株)テイクコ
- オブザーバー**
吉田 典明 (株)日本工営(株)

6 近畿本部フォーラム

- リーダー**
片岡 信之 (一社)国土政策研究会
- 企画委員**
霜上 民生 (一社)国土政策研究会
山内 幸裕 (一社)国土政策研究会
宮原 正和 (一社)国土政策研究会
田中 敏治 (一社)国土政策研究会
東 定生 (一社)国土政策研究会
福岡 成和 (一社)国土政策研究会
河野 千代 (一社)国土政策研究会
板倉 信一郎 (一社)国土政策研究会
佐藤 正典 (一社)国土政策研究会
新田 耕司 (一社)国土政策研究会
井上 裕司 (一社)国土政策研究会
楠本 博 (一社)国土政策研究会
中川 芳計 (一社)国土政策研究会
坂本 宏 (一社)国土政策研究会
中垣 亮二 (一社)国土政策研究会
坂野 昌弘 (同)関西大学
- オブザーバー**
羽鳥 徹 (株)富士ゼロックス(株)

7 「ちゅうごく」(中国フォーラム)

- リーダー**
藤井 堅 広島大学
- 企画委員**
藤井 友行 (株)復建調査設計(株)
岩村 誠治 (株)岩善
井手 義勝 (株)大林道路(株)
狩屋 雅之 (同)岡山県立岡山工業高等学校
岩本 康弘 (株)ガイアート
前土 井 寛之 (株)格正建設(株)
紀 淳 (株)熊谷組
秋田 英次 (株)山陽ロード工業(株)
高野 輝浩 (株)NPO法人社会基盤サイバサイクルマネジメント研究会
高橋 千里 (同)スマートウォーター
廣田 和道 (株)戸田建設(株)
井上 智章 (株)ニチレキ(株)
若木 和雄 (株)日進工業(株)

- 奥村 享作 (株)フジタ
清水 祐介 (株)富士通(株)
天満 真士 (株)復建調査設計(株)
丹羽 健介 (株)Rooppe's
- オブザーバー**
鈴木 泉 (株)ガイアート
太田 勉 (株)富士通交通・道路データサービス

8 四国地方フォーラム

- リーダー**
矢田部 龍一 愛媛大学
- 企画委員**
庵原 伸二 (一社)四国クリエイト協会
山崎 秀幸 (株)四電技術コンサルタント
福田 茂 (株)四国建設コンサルタント(株)
大野 二郎 (株)美蓉コンサルタント
楠本 雅博 (株)第一コンサルタンツ
松下 征司 (株)ニチレキ(株)
森 琢真 (株)徳島県
阿河 賢治 (株)香川県
中川 逸朗 (株)愛媛県
渡邊 隆也 (株)高知県
- オブザーバー**
大島 邦彦 (株)熊谷組
笹谷 達也 (株)日鉄高炉セメント(株)

9 九州フォーラム

- リーダー**
日野 伸一 大分工業高等専門学校
- 企画委員**
園田 佳巨 九州大学
松田 浩 (株)長崎大学
高橋 和雄 (株)長崎大学
山口 浩平 (株)長崎大学
大塚 久哲 (株)大塚社会基盤総合研究所
赤星 文生 (一社)九州地域づくり協会
山口 英彦 (一社)九州地域づくり協会
福島 宏治 (一社)建設コンサルタンツ協会九州支部
吉田 鉄治 (一社)建設コンサルタンツ協会九州支部
濱村 哲之進 (株)アース建設コンサルタント(株)
池内 勝吾 (株)アース建設コンサルタント(株)
岩 慎二郎 (株)麻生
牧角 龍憲 (一社)NME研究所
花岡 信一 (株)前田建設工業(株)
中川 喜介 (株)前田建設工業(株)
青柳 貢司 (株)前田建設工業(株)
永田 武久 (株)戸田建設(株)
岩永 信太郎 (株)戸田建設(株)
小野寺 陵太郎 (株)ニチレキ(株)
野上 和彦 (株)福山コンサルタント
池田 喜輝 (株)福山コンサルタント
柳田 誠二 (株)福山コンサルタント
園田 康行 (一社)建設業連合会九州支部
石松 利視 (一社)建設業連合会九州支部
山川 武春 (一社)九州橋梁・構造工学研究会
川神 雅秀 (同)防災構造工学研究所
渡邊 泰幸 (株)西松建設(株)
山口 奇 (株)西松建設(株)
高山 淳一 (一社)リベア会
片山 英資 (一社)ツタワルドボク
坂川 康展 (株)応用地質(株)
吉田 真治 (株)応用地質(株)
田頭 正臣 (株)宮地エンジニアリング(株)
- オブザーバー**
熊倉 信行 (株)東芝環境ソリューション(株)
笹谷 達也 (株)日鉄高炉セメント(株)

10 沖縄フォーラム

- リーダー**
有住 康則 琉球大学
- 企画委員**
下里 哲弘 琉球大学
神村 美州 (一社)沖縄県測量建設コンサルタンツ協会
和田 吉憲 (株)西日本高速道路(株)
金城 博 (一社)沖縄しまたて協会
伊集 朝徳 (一社)日本道路建設業協会 沖縄支部
砂川 健 (株)沖縄県
喜屋武 元秀 (一財)沖縄県建設技術センター
- オブザーバー**
若佐 宏一 (公社)ファシリティマネジメント協会
田村 裕美 (一社)ソーシャルテクニカ

活動概要

主要な活動

令和2年度インフラメンテナンス国民会議総会

インフラメンテナンス国民会議は、我が国のすべてのインフラメンテナンスの円滑な実施を目標とし、それを支援するために必要な産学官民のプラットフォームを運営するとともに、インフラメンテナンスの円滑な実現に向け必要な事業を行っています。

令和2年度インフラメンテナンス国民会議総会は新型コロナウイルス感染拡大の影響に配慮し、令和3年1月8日にメールによって開催いたしました。

会長、副会長及び実行委員の選任等の3議案を決議し、株式会社経営共創基盤IGPIグループ会長／株式会社日本共創プラットフォーム(JPIX)代表取締役社長の富山和彦氏を会長に、政策研究大学院大学教授の家田仁氏を副会長に再任いたしました。

社会インフラテック Online 2020

インフラメンテナンス国民会議と日本経済新聞社は、令和2年11月25日(水)から28日(土)までの4日間、また12月25日(金)までのアーカイブ期間に、「社会インフラテック Online 2020」をオンラインで開催しました。

インフラメンテナンス国民会議の出展ページを設け、本会議の活動や取り組みについて映像を交えて紹介しました。

日時	令和2年11月25日(水)から28日(土)の4日間 ※令和2年12月25日(金)までアーカイブを公開
場所	NIKKEI NEON(日経オンライン展示場)
展示規模	18社
来場者数	5,557名
主催	インフラメンテナンス国民会議、日本経済新聞社
後援	国土交通省、内閣府、経済産業省、環境省、文部科学省、厚生労働省、警察庁、土木学会



社会インフラテック Online 2020のトップページ



インフラメンテナンス国民会議出展ページ

第4回インフラメンテナンス大賞

経済産業大臣賞新設

インフラメンテナンス大賞とは、日本国内のインフラのメンテナンスに係る優れた取り組みや技術開発を表彰し、好事例として広く紹介することにより、我が国のインフラメンテナンスに関わる事業者、団体、研究者等の取り組みを促進し、メンテナンス産業の活性化を図るとともに、インフラメンテナンスの理念の普及を図るため実施するものです。

今回より経済産業大臣賞を新設し、7省（総務省、文部科学省、厚生労働省、農林水産省、経済産業省、防衛省、国土交通省）が所管する施設について過去最多288件の応募があり、35件の受賞者を決定し、令和3年1月8日にオンラインで表彰式を実施したところです。



赤羽国土交通大臣による祝辞



国土交通大臣賞表彰式の様子①



三木千壽氏



国土交通大臣賞表彰式の様子②



家田仁氏(オンライン参加)



受賞者オンライン参加の様子

**日時
場所
次第**

令和3年1月8日(金) 14:00~16:00
 中央合同庁舎第3号館 10階共用会議室
 ・国土交通大臣祝辞
 ・受賞者表彰(35団体)
 ・インフラメンテナンス大賞選考委員会委員長講評
 ・インフラメンテナンス国民会議副会長からのメッセージ
 ・第5回インフラメンテナンス大賞説明

参加者

約140名
 インフラメンテナンス大賞選考委員会 委員長
 三木千壽(東京都市大学 学長)
 インフラメンテナンス国民会議 副会長(オンライン参加)
 家田仁(政策研究大学院大学 教授)
 〈主務省庁代表〉
 赤羽一嘉(国土交通大臣)
 新谷正義(総務副大臣)
 田野瀬太道(文部科学副大臣)
 宮内秀樹(厚生労働副大臣)
 長坂康正(農林水産副大臣)
 〈受賞者・関係者〉
 会場参加者:約20名
 大賞受賞者・受賞者関係者(オンライン参加):約120名

第4回インフラメンテナンス大賞受賞者

省	No.	表彰の種類	部門*	分野	応募者(代表企業・団体名)	応募案件名
総務省	1	総務大臣賞	ウ	情報通信 関係施設	日本電信電話株式会社	屋外設備における荷重可視化技術の実用化
文部 科学省	1	文部科学 大臣賞	ア	文教施設等	学校法人南山学園南山大学	南山大学「レーモンド・リノベーション・プロジェクト」によるキャンパスの改修
	2	優秀賞	ウ	文教施設等	株式会社フィールディックス	フラッシングコアによる副側溝工法透水不良を 起こさない芝生・植栽の排水システム
厚生 労働省	1	優秀賞	ウ	福祉	札幌施設管理株式会社	SPT配管診断による建築物の配管改修・更新工事のコスト削減
農林 水産省	1	農林水産 大臣賞	ア	農業農村	株式会社岩田鉄工所	可搬式水門閉閉装置「すぐれ門」による 水門閉閉作業の負担軽減
	2		ウ	農業農村	真柄建設株式会社	ICTを活用した曲面形状のコンクリート構造物(固定堰)の改修
	3	特別賞	ウ	水産基盤等	公益社団法人全国漁港漁場協会	漁港情報クラウドシステム
	4		ア	農業農村	名田周辺土地改良区	施設監視システムのウェブ化による管理省力化にかかる効果検証
	5	優秀賞	イ	農業農村	特定非営利活動法人グラウンドワーク三島	地域総参加による「源兵衛川」の再生・管理システムの構築
	6		ウ	農業農村	日鉄ケミカル&マテリアル株式会社	炭素繊維を用いた農業用水路無筋コンクリート トンネルに最適化した補強法の開発
	7		イ	林野	えりも岬の緑を守る会	官民共同による海岸林の維持造成
	8		ウ	林野	ジビル調査設計株式会社	橋梁点検支援ロボット「視る・診る」による安心で効率的な橋梁点検
	9		ア	林野	株式会社ホクコク地水	360°カメラによる集水井内点検診断手法
	10		イ	農業農村	幸野溝土地改良区	持続可能性のある世界かんがい施設遺産「幸野溝」の維持管理の取組み
	11		イ	農業農村	大和平野土地改良区	先人達の多大な苦勞により確保された 農業用水の恩恵を未来に引き継ぐ活動
経済 産業省	1	経済産業 大臣賞	イ	電力	関西電力送配電株式会社	設備情報を用いた効率的な更新計画の策定
	2		ウ	電力	東北電力ネットワーク株式会社 ほか	AIを活用した送電鉄塔の腐食劣化診断システム開発・運用
	3	特別賞	ウ	ガス	東京ガス株式会社 ほか	レーザーを用いた遠隔からのガス漏えい検査技術
	4	優秀賞	ウ	ガス	旭化成株式会社	化学会社各社の設備データ共有化とそれを 基にした保温材下腐食の発生予測モデル開発
	5		ウ	電力	株式会社日立製作所 ほか	パネルの半導体特性を活用した、太陽光発電設備のメンテナンス技術
	6		ウ	電力	北海道電力株式会社 ほか	コンクリート柱の鉄筋破断診断装置の開発、実用化
	7		ア	電力	株式会社シーテック	送電鉄塔の保守から生まれた小土木(KODOBOKU)技術
	8	ウ	電力	北海道電力株式会社 ほか	苫東厚真発電所4号機におけるボイラー保守技術 高度化システムの導入について	
防衛省	1	優秀賞	ウ	自衛隊施設	京環メンテナンス株式会社	RAKUYU-Z工法(不排水水替工法)
国土 交通省	1	国土交通 大臣賞	ア	港湾・海岸	宮城県 土木部 港湾課	仙台塩釜港西ふ頭棧橋・観光棧橋災害復旧事業
	2		イ	下水道	管清工業株式会社	下水道管内調査のライブ映像公開による下水道の 見える化と地域住民との交流
	3		ウ	自動車道	東京大学・中日本高速道路株式会社	高速道路のトンネルにおける時速100km走行での 覆工コンクリート高解像度変状検出手法
	4	特別賞	ア	鉄道	東日本旅客鉄道株式会社	トンネル検査の高精度化のこれまでの取り組みと 新型トンネル表面覆工撮影車の開発
	5		ウ	鉄道	東日本旅客鉄道株式会社 ほか	機械学習を用いたポイント装置転換異常解析手法の実用化
	6		ウ	河川・ダム・ 砂防・海岸	株式会社興和	専用架台・懸架装置と2種類のカメラ(全周撮影型・ 回転撮影型)を用いた集水井内の点検
	7		ウ	港湾・海岸	国立研究開発法人 海上・港湾・ 航空技術研究所 港湾空港技術研究所	棧橋上部工点検用ロボットと診断支援システムの開発
	8	優秀賞	ウ	鉄道	西日本旅客鉄道株式会社 ほか	トンネル覆工コンクリート剥落防止のためのFRP内巻工の開発
	9		ア	鉄道	東日本旅客鉄道株式会社 ほか	保守労力低減と持続性を両立した「新しい鉄道林」への転換
	10		ア	鉄道	東日本旅客鉄道株式会社	鉄道沿線斜面監視のためのIoTセンサの整備
	11		ア	鉄道	株式会社日本海コンサルタント ほか	七尾市におけるAI(人工知能)を活用した小規模橋梁点検の実証実験

※凡例 ア/メンテナンス実施現場における工夫部門 イ/メンテナンスを支える活動部門 ウ/技術開発部門

革新的技術フォーラム

革新的技術フォーラムは、施設管理者の課題に対して、会員が有する技術・サービス等について集約・情報提供を行うとともに、革新的技術の社会実装に向けた課題整理を行うという運営方針のもと、革新的技術の社会実装が進まないという課題に対処していきます。

国民会議イベント参加自治体へのヒアリング

革新的技術の社会実装が進まないという課題に対して、インフラメンテナンス国民会議主催イベントでマッチングが成立するなどした自治体に対して、ヒアリングを実施しました。

ヒアリング結果より、新技術情報に触れる機会は限定的であり、自治体においては新技術の評価が困難な場合があり、導入時にあたっては職場内の合意形成に苦労していることなどが分かりました。

これらの課題に対しては、今後「インフラの維持管理に関する新技術導入の手引き(案)」を本フォーラムでブラッシュアップするなどし、対処していきます。

日時 令和2年10月

〈新技術との出会い〉

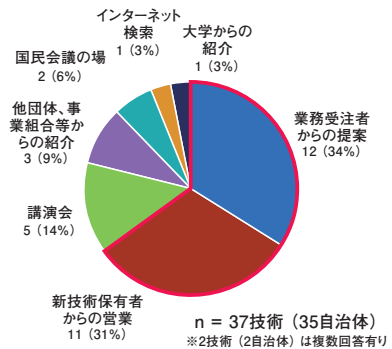
自治体側からニーズを示し、技術シーズとのマッチングに臨むなど、幅広く新技術情報に触れる機会は限定的である。

道路舗装診断の地方公共団体現場における実践事例セミナー



参加者：約400名
(本会場 約150名、サテライト会場 約100名、ウェブセミナー 約150名)

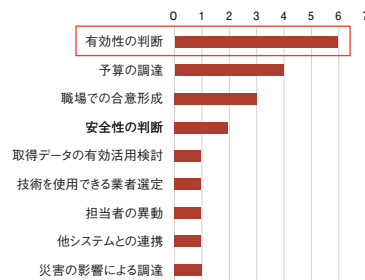
〈実装した新技術との出会い・知ったきっかけ〉



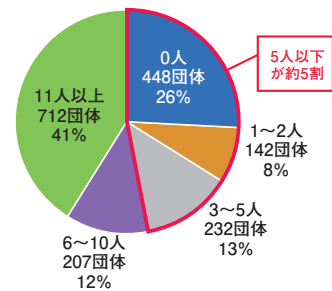
〈新技術の評価〉

現状の市区町村の技術力・マンパワーでは、専門的見地から新技術の有効性等を判断することが難しく、新技術の評価が困難な場合がある。

〈新技術の実装に至るまでに苦労した点〉 n = 20技術 (16自治体)



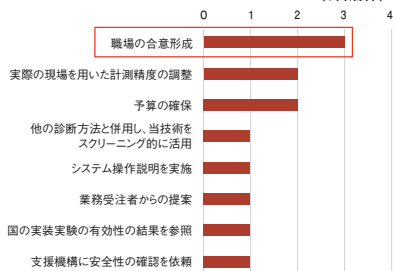
市町村における技術系職員数



〈職場内の合意形成〉

新技術導入にあたっては初期コストを要すること等から、首長や他部局を含めた職場内の合意形成に苦労している。

〈新技術の実装に至るまでに工夫した点〉 n = 12技術 (9自治体)



自治体支援フォーラム

自治体支援フォーラムは、インフラの多くを管理する自治体の支援を目的として、行政会員の持つ課題・ニーズ、好事例などの情報共有を行うとともに、包括的民間委託、技術者派遣、市民協働などの制度・体制に関する全国的テーマについてのノウハウの情報交換等を行うフォーラムを継続的に開催していきます。

地方における持続的なインフラメンテナンスサイクルの実現

地方自治体がインフラメンテナンスに関し抱えている課題を共有するとともに、具体的な課題解決策として実践している好事例の紹介を行いました。具体には産官学民連携によるインフラメンテナンスの実践5事例、包括維持管理のモデル事業実施1例、産官学民連携によるメンテナンス技術者の育成1例で、実施に至る背景も含めての情報提供は各自治体の抱える共通の悩みの解決の一方策として新たな導入のきっかけとなるものでした。

自治体職員が聞いてためになる情報、導入したいと思える取り組みや工夫を紹介しました。



開催状況

日時 令和2年11月27日(金) 14:40~16:30
場所 社会インフラテックOnline 2020 主催者セミナー
プログラム 〈地方における好事例の紹介〉

岩城 一郎 氏 [日本大学] 地域の橋はみんなで守る～橋のセルフメンテナンスモデルの構築と実践～
鈴木 新吾 氏 [福島県] 中山間地域道路等維持補修業務委託(奥会津モデル)について
吉原 睦 氏 [千葉県千葉市] ちばレボ(ちば市民協働レポート)～ICTを活用した協働のまちづくり～
向井 光広 氏 [愛媛県八幡浜市] メンテナンスに関する技術者育成～小規模自治体の技術者育成～
今井 努 氏 [山口県周南市] 産・官・学・民による協働メンテナンス(橋守活動)の事例紹介
川神 雅秀 氏 [合同会社 防災構造工学研究所] 九州フォーラムが行う自治体支援「テックシニアーズ」
竹嶋 哲也 氏 [中村興業株式会社] ボランティアによる地域の橋梁点検「明日に架ける橋」プロジェクト
【司会】吉田 典明 氏 [インフラメンテナンス国民会議実行委員]

技術者育成フォーラム

包括民間委託、技術者派遣等の新たな民間ノウハウを活用する手法において、担い手側に求められる企業連携やマネジメント体制の確立に向け、地域の担い手側に求められる役割や技術の方向性を模索するシンポジウムを地方フォーラムと連携して開催し、インフラメンテナンスの課題解決の具体策として求められる技術者の役割や資格・制度の枠組み等について検討を進め、試行・実装を目指して活動しています。また、地方フォーラムでのインフラメンテナンス時代のリーダーの育成を目指す先進的な取り組みをスパイラル支援していきます。

伊島小学校通学路の高校生による道路パトロール活動

地方フォーラム国民会議「ちゅうごく」での先進的な取り組み(工業高校生による岡山道路パトロール隊)を企画から支援をしています。道路パトロール隊は、学習の中で市民参加型の社会インフラ維持活動のリーダーとして地域の維持・発展を牽引する人材を養成することを目的としています。「道路パトロール体験会」を開催することで、通学路を利用する児童の保護者、地域の市民と一緒に、インフラメンテナンスの大切さと、あらためて道路の役割・機能について理解を深める機会として、市民協働による地域活動の新たなスタートとなることを期待します。

今年度は新型コロナウイルス感染の影響に配慮し開催することができませんでしたが、地方における市民協働と将来の担い手育成のモデルケースとすべく、令和3年度の開催を目指します。

日時 令和3年度実施予定
場所 岡山県立岡山工業高等学校、伊島小学校の通学路
参加予定者 地域市民、高校生、市役所、警察署、国民議会議員
プログラム(予定) 通学路道路パトロール体験会の目的説明
各班での道路パトロールの実施(岡山市伊島小学校通学路)
道路パトロール結果の発表(ワークショップ)

市民参画フォーラム

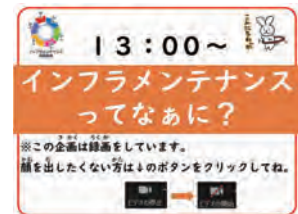
市民参画フォーラムは、市民社会へのインフラやインフラメンテナンスの必要性、重要性を広めることが主な活動となります。即効性のあるツールやイベントがないことについてご理解いただいているところです。よって当フォーラムは長期的な視点で、かつ継続した活動により市民が参画するネットワークの輪を広げ、地域の課題に対して具体的な活動へ展開できるよう働いているところです。全国ですでに活動されている方々とも協力しながら、時代に即した活動を展開していきます。

2020サイエンスアゴラ ブース出展

今、インフラにはどのような問題が起きているのかを子供達にも楽しく説明するためのクイズを作成し、オンラインで発表しました。クイズは生活の中での気づき、探したくなるようなもので構成されています。終盤には参加者の作成したオリジナルインフラキャラクターを募集し、後日データ化し発表しました。質疑応答の時間には、災害時のインフラについての話題も上がり、子供から大人までインフラが抱える課題について理解を深めるきっかけになりました。



開催告知



プログラムタイトル

日時 令和2年11月21日(土) 13:00~13:40
場所 サイエンスアゴラ2020(オンライン)
参加者 約16名
プログラム インフラとは何か?
 マンホールはなぜ丸いのか?
 なぜ橋を補強したのか?
 水道設備のいらないトイレ?
 インフラキャラクターコンテスト



配信状況



参加者作成オリジナルインフラキャラクター「電くん」

インフラマネジメントテクノロジーコンテスト

全国の高等専門学校生を対象に、インフラの課題を解決するアイデアを募る第1回インフラマネジメントテクノロジーコンテスト(高専インフラテックコン)が開催され、当フォーラムは協力支援として活動を応援しました。コンテストは「協働促進」「技術・アイデア」の2部門とし、1次審査では30チーム(17校)が参加、最終審査は13チーム(9校)が進出し、最優秀賞「わくわくピーナッツ」(徳山高専)、優秀賞「NITKCS」(木更津高専)が選ばれました。今後アイデアを具現化する活動についても当フォーラムで協力していきます。

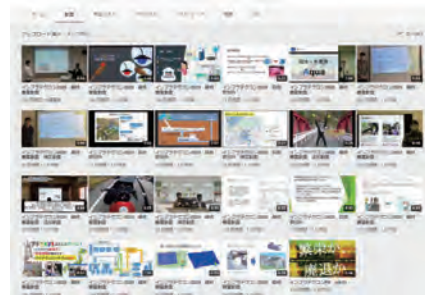


インフラテックコンPRポスター



最優秀賞「わくわくピーナッツ」の作品ポスター

日時 令和2年8月~令和3年3月
場所 オンライン上
参加者 参加チーム:1次 17校(30チーム) 全国57校(国公立)
 最終 9校(13チーム)、自由参加 3校(4チーム)
 協賛:プラチナパートナー19団体(25者)
 ゴールドパートナー27団体(27者)
 オフィシャルパートナー10者
 共催3団体、後援9団体、協力2団体
プログラム 令和2年8月:高専生を対象にしたアイデアコンテスト開催・告知
 令和2年9月:1次審査は地域課題を調査し「協働促進」「技術・アイデア」部門から参加
 また企業が設定した企業課題を選択することも可能
 応募様式「TSURISHO」で審査する
 令和2年11月:最終審査は10分以内の動画と提案概要書で審査
 令和3年 1月:最終審査結果の発表



最終審査に挑んだ作品集

海外市場展開フォーラム

メンテナンス分野の海外プロジェクトに関連する官民連携の促進や、国内外のメンテナンスに関する製品・技術・知見を有する産官学の関係者による「プラットフォーム」の構築により、メンテナンス分野における我が国企業の海外展開を図る取組を行っています。

インフラメンテナンス国内セミナー

「インフラメンテナンス国民会議海外市場展開フォーラム」の活動の一環として、メンテナンス分野における海外プロジェクトに関する官民連携の強化と我が国企業の海外展開の促進を目的として、9月3日にインフラメンテナンスのセミナーをオンラインで開催し、活発な情報交換を行いました。

日時	令和2年9月3日(木) 15:30~17:00
場所	オンライン(Microsoft Teams)
参加者	約100名
プログラム	開会挨拶 過年度調査概要の報告 現地大使館書記官、JICA専門家からの情報提供 高速道路会社からの情報提供 今年度業務や取組み方針の紹介



セミナーの様子

日タイ・インフラメンテナンスセミナー2021

タイでは道路・橋梁などのインフラの老朽化が進んでおり、メンテナンスに課題を抱えています。インフラメンテナンスの課題解決に資する観点から、両国のインフラメンテナンスに係る政府の取り組み、タイにおける老朽化やメンテナンスで課題を抱える施設を対象としたケーススタディ、日本企業のメンテナンス技術をタイ側関係者に紹介し、インフラメンテナンス事業への参画・協働に向けて、タイ政府・現地企業と日本企業とのネットワーク構築をサポートする目的でセミナーを開催しました。

日時	令和3年3月18日(木) 15:00~17:30【日本時間】
場所	オンライン(Zoomビデオウェビナー)
参加者	約200名(登録ベース)
プログラム	開会挨拶 日本のインフラメンテナンスの取組状況 タイにおけるメンテナンスの現状・課題 タイにおけるケーススタディの紹介・効率的なメンテナンス技術の提案 日本のメンテナンス技術の紹介



セミナーの様子

活動概要

公認フォーラム (地方フォーラム)



平成30年3月23日に設立し、北海道内の地方公共団体が管理する土木施設・公共施設の適切なメンテナンスを継続していくため、産学官民の技術や知恵を総動員するプラットフォームとして、活動しています。

リーダー 横田 弘
北海道大学大学院工学研究院 特任教授



01 北海道フォーラム オンラインシンポジウム 「地方でのインフラメンテナンスを考える」

公共インフラ施設の適切なメンテナンスを継続するため、インフラ施設の現状を確認し、メンテナンスのノウハウや好事例などを紹介するとともに、インフラメンテナンス国民会議北海道フォーラムの取組みを周知し、課題解決に向けた機運を高めました。北海道フォーラムとしては、初めてオンラインによるイベントの開催となりましたが、北海道内各地や道外から多くの方にご参加頂きました。

日時
場所
参加者
プログラム

令和3年1月25日(月) 13:30~17:00

オンライン

約120名

〈開会挨拶〉

栗田 悟(北海道フォーラム企画委員長)

〈講演〉

・「インフラメンテナンスの現状と課題」

横田 弘(北海道フォーラムリーダー)

・「道内地方自治体の橋梁点検結果概要と補修の注意点」

前田 勇一(北海道建設技術センター市町村支援部 市町村支援課 主幹)

・「上下水道に関するメンテナンス大賞受賞技術の紹介」

鈴木 久永(北海道フォーラム企画委員)

・「公営住宅・公共施設のメンテナンスにおける課題と対策」

工藤 理恵子、西川 忠、横山 隆(北海道フォーラム企画委員)

・「北見市における橋梁メンテナンスの取り組み」

笠原 史弘(北見市 都市建設部 道路管理課長)

〈意見交換〉

オホーツク地方の自治体職員と北海道フォーラムメンバーがインフラメンテナンスに関する人材育成や新技術の導入について意見交換を実施。



横田弘フォーラムリーダーによる講演



講演の撮影配信会場の様子



自治体職員との意見交換の様子

北海道フォーラム

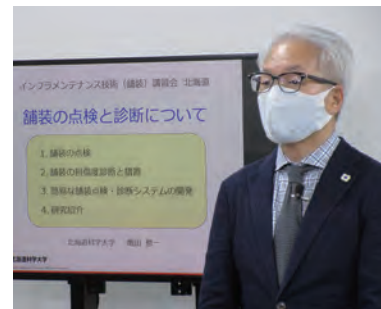
02 インフラメンテナンス技術(舗装)講習会
@北海道

道路舗装を主な題材としたインフラメンテナンスの最新の知見を学ぶ「講演会」と、舗装を中心に各自治体の悩みに直接答える「出前講座」を組み合わせた『インフラメンテナンス技術(舗装)講習会』を(公財)土木学会インフラメンテナンス総合委員会及び土木学会北海道支部との共催で開催しました。北海道内の市町村職員を主な参加対象としましたが、道外も含めた積雪寒冷地域の舗装インフラ管理に携わる多くの方にご参加を頂きました。

日時	令和3年2月9日(火) 13:30~16:50
場所	オンライン
参加者	約250名
プログラム	<p>〈開会挨拶〉</p> <p>岩城 一郎 (土木学会インフラメンテナンス総合委員会アクティビティ部会 部会長(日本大学教授))</p> <p>〈報告・講演〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「インフラメンテナンス国民会議北海道フォーラム舗装グループの活動 及び自治体の実情と課題」 阿部 幸康(北海道フォーラム企画委員) ・「舗装の点検と診断について」 亀山 修一(北海道科学大学教授) ・「北海道地域の舗装損傷と対策技術(材料・工法)について」 丸山 記美雄(土木研究所寒地土木研究所上席研究員) <p>〈出前講座〉(Q&Aセッション)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各自治体から寄せられた質問について、講師及び北海道フォーラム メンバーから回答を行い、課題解決策の提案等を行いました。



岩城一郎アクティビティ部会長による挨拶



亀山修一教授による講演



丸山記美雄上席研究員による講演

03 オンラインシンポジウム 『老朽化するインフラをどう未来につなぐか』

北海道内の自治体における、公共インフラ施設の老朽化問題を検討するため、自治体の企画・財政部門の方々にご協力を頂き、各種対策の現状と課題について、ご講演頂くとともに、パネルディスカッションにより議論を行いました。本シンポジウムは、北海道土木技術会建設マネジメント研究委員会との共催により、オンラインにて実施しました。

日時
場所
参加者
プログラム

令和3年3月25日(木) 14:00~16:30

オンライン

約70名

〈開会挨拶〉

高野 伸栄

(北海道土木技術会建設マネジメント研究委員会委員長

(北海道大学大学院教授))

〈講演〉(自治体からの話題提供)

石狩市財政部財政課長 青山 昌弘

北広島市企画財政部企画課長 橋本 征紀

恵庭市総務部財務室長 小林 勉

〈パネルディスカッション〉

コーディネーターを北海道フォーラム企画委員の高宮則夫氏(北海道土木技術会建設マネジメント研究委員会民間活力小委員長)が務め、講演頂いた青山氏、橋本氏、小林氏をパネリストに迎え、インフラメンテナンスの自治体での位置づけ、財政的な課題、利用者との合意形成のあり方、人材育成等の広範な論点で議論を深めました。



高野委員長による挨拶



青山昌弘氏による講演



パネルディスカッションの様子

東北フォーラム

東北フォーラムは、インフラを良好な状態で持続的に活用することを目指し、平成30年4月27日に設立されました。産学官民が一丸となってメンテナンスに取り組む社会の実現に向けて、活動しております。

リーダー 石川 雅美
東北学院大学工学部 教授



01 インフラマネジメントシンポジウム2020 (復興から新しい東北のインフラ創生へ)

東日本大震災からの震災・復興10年目の節目を東北地方の重要なターニングポイントと位置づけ、新しい東北を創生するためのインフラのありかたを発信する場として、土木学会東北支部との共催で『インフラマネジメントシンポジウム2020』を開催しました。講演では、東北地方整備局での取組状況、東北大学大学院久田教授による最新話題の提供の他、土木学会会長でありインフラメンテナンス国民会議副会長の家田教授を招いたパネルディスカッションを行い、これからの社会とインフラのあり方について議論が交わされました。

<p>日時 場所 参加者</p>	<p>令和2年11月12日(木) 13:30~17:10 宮城県仙台市 メトロポリタンホテル仙台よりオンライン配信 約200名 (内訳:国、地方自治体、市町村、土木技術者、建設業関係者、コンサルタント、大学生等)</p>	
<p>プログラム</p>	<p>〈開会挨拶〉 梅野 修一(東北地方整備局長、土木学会東北支部長) 〈講演〉 ①河川構造物の維持管理について 中川 博樹(東北地方整備局 河川保全管理官) ②道路メンテナンス会議の取組み 武田 滋生(東北地方整備局 道路保全企画官) ③インフラマネジメントに関する最新の話題 久田 真(東北大学大学院工学研究科教授、インフラ・マネジメント研究センター長) 〈パネルディスカッション〉 『これからの社会とインフラのあり方を考える』 パネリスト: 家田 仁(インフラメンテナンス国民会議副会長、土木学会会長) 久田 真(東北大学大学院工学研究科教授、インフラ・マネジメント研究センター長) 梅野 修一(東北地方整備局長、土木学会東北支部長) 深松 勉(仙台建設業協会会長) 司会進行: 飛田 善雄(東北学院大学工学部教授) 〈閉会の辞〉 石川 雅美(インフラメンテナンス国民会議東北フォーラムリーダー)</p>	 <p>講演の様子</p>  <p>パネルディスカッションの様子</p>  <p>パネルディスカッションの様子</p>

02 東北フォーラム令和2年度 マッチングイベント

東北の各自治体が抱えるインフラの維持管理に関する課題・悩みなどの解決の糸口とすべく、企業が所有する技術などを紹介するマッチングイベントをオンラインで開催しました。東北6県の行政会員から寄せられたニーズに応える形で、福島県宮下土木事務所伴野所長による基調講演(先進事例紹介)や企業会員からの8件のシーズ紹介が行われました。今後は、このイベントを機に、インフラの維持管理に関し住民や利用者とのつながりを強め、高い関心が得られるよう、提案技術の実装やマッチング方策について検討を図ります。

日時
場所
参加者
プログラム

令和2年12月17日(木) 14:00~16:40
宮城県仙台市 東北地方整備局よりオンライン配信
約100名(内訳:行政会員、団体会員、企業会員等)
〈挨拶〉
石川 雅美(東北学院大学 教授、フォーラムリーダー)
〈活動報告〉
〈基調講演〉(先進事例紹介)
『中山間地域道路等維持補修業務委託について』
伴野 史典(福島県 宮下土木事務所長)
〈ニーズ調査報告〉
〈シーズ紹介〉
【建築分野】
・建物の点検診断・維持管理について
【土木分野】
・ひびわれ点検と補修方法について
・急勾配碎石道路における流出防止方策について
・橋梁の点検技術について
・不可視部分の点検手法について
・AIとi-con技術を活用した河川維持管理について



フォーラムリーダーの挨拶



基調講演の様子



シーズ紹介の様子

関東地方フォーラム

インフラメンテナンスに関する地方公共団体及び産業等の育成・活性化を支援し、インフラメンテナンス国民会議の取り組みを地方レベルで推進させることを目的として、関東地方フォーラムを平成30年3月29日に設立しました。

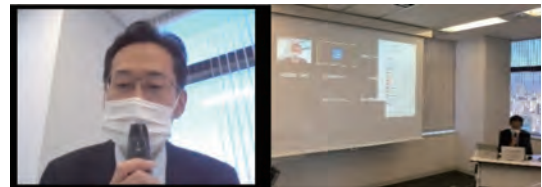
リーダー 村越 潤
東京都立大学 教授



01 自治体向けオンラインセミナー

公共事業に関する効率的・効果的な維持管理を実現すべく、先進的な取り組みを行っている自治体や他地方フォーラムについて、取り組み内容や効果、課題等の発表を通じて、各自治体への情報共有を図り、講演や技術紹介を通じて、インフラ施設の効率的な維持管理における産学官民連携による技術活用のメリット等について自治体の参考としていただくことを目的として、自治体向けオンラインセミナーを開催しました。

日時	令和2年11月13日(金)13:30~17:00
場所	ZOOM ビデオウェビナー (配信会場:八千代エンジニアリング株式会社会議室)
参加者	自治体・企業41団体86名
プログラム	<p>〈インフラメンテナンスに関する取組紹介〉</p> <p>①インフラメンテナンス新技術体制等導入推進委員会について(国土交通省)</p> <p>②地方フォーラムの取組に向けて(中部地方フォーラム) (インフラ施設の効率的な維持管理に向けた技術活用等の先行事例)</p> <p>①ICTを活用した協働のまちづくりについて(千葉市)</p> <p>②道路点検における最新技術の実装について(品川区)</p> <p>③道路の包括的な維持管理(府中市)</p> <p>〈インフラメンテナンスに関する技術紹介〉</p> <p>①社会インフラを支えるモニタリング技術の紹介 (オムロンソーシアルソリューションズ株式会社)</p> <p>②トンネル全断面点検・診断システム iTOREL (アイトーレル)(東急建設株式会社)</p> <p>〈意見交換〉</p> <p>先行事例を発表いただいた自治体との意見交換</p>



フォーラムリーダー村越教授挨拶の様子



自治体との意見交換の様子



配信会場の様子

北陸インフラメンテナンスフォーラム

主に自治体が抱える課題に関する知識を深めるとともに人材交流により課題解決を見いだすことを目的とし、北陸インフラメンテナンスフォーラムを平成30年3月26日に設立しました。

活動にあたっては、産学官民協力して取り組む他、メンテナンス会議など既存組織で取り組んでいる活動と連携し、取り組むものとしております。

リーダー 丸山 久一
長岡技術科学大学 名誉教授



01 北陸地方の地方自治体に向けた技術展示会

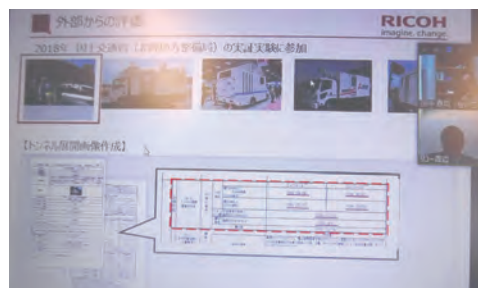
現在道路法に基づく2巡目の点検が進められており、1巡目を踏まえた新たな点検方法の検討等を進めるための支援の一つとして、北陸SIP主催による技術展示会(北陸インフラメンテナンスフォーラム共催)を、今年度は新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、オンラインで開催しました。

自治体職員やコンサルタントの技術者等、多くの方に向けた、点検(モニタリングを含む)の時間短縮・費用削減、評価・診断の精度向上、補修(予防保全を含む)の費用削減・効果向上などに資する、最新技術の紹介がありました。

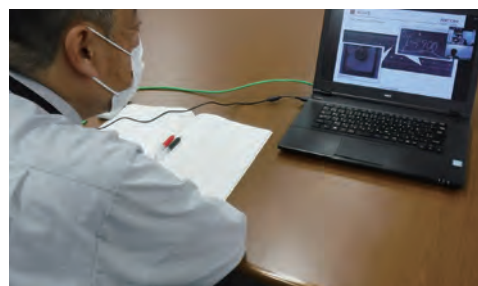
日時
場所
参加者
プログラム

令和2年11月18日(水) 13:00~16:00
オンライン(Zoom)により開催
200名超
(技術展示会)(以下テーマ毎に5会場)

- ①調査診断
- ②補修補強
- ③点検技術
- ④モニタリング
- ⑤トンネル



オンライン開催状況(PC画面)



オンラインでの聴講の様子

北陸SIP 2020 Zoom技術展示会プログラム

11/18wed 13:00~16:00

	1. 調査診断	2. 補修補強	3. 点検技術	4. モニタリング	5. トンネル
13:00~13:30	株式会社 日本海コンサルタント	株式会社 ダイフレックス	株式会社 オングエンジニアリング	CACH 株式会社	
13:30~14:00	株式会社 ファースト	サンコーテック/株式会社	ジビル調査設計 株式会社		リコージャパン 株式会社
14:00~14:30	中日本ハイウェイ エンジニアリング名古屋 株式会社	株式会社 ジェイアール総研エンジニア リング	長岡工業高等専門学校	太平洋セメント 株式会社	東海建設 株式会社
14:30~15:00		株式会社 デロス・ジャパン	株式会社 ジュビコ		
15:00~15:30	大日本コンサルタント 株式会社	株式会社 アグセス		地方自治体 富山市 建設部道路構造保全対策課	前田工機 株式会社
15:30~16:00	株式会社 太平洋コンサルタント	カジマ・リノベイト株式会社	株式会社アルファ・プロダクト /株式会社社長大	地方自治体 北陸SIP	

技術展示会プログラム

中部フォーラム

中部フォーラムは、民間主体の事務局として平成30年1月26日に設立し、中部地方の自治体が管理する主として土木インフラについて、メンテナンスサイクルの確実な実施に向けて支援いたします。

リーダー 原田 和樹
玉野総合コンサルタント株式会社



01 インフラメンテナンス技術講習会 (静岡)

土木学会インフラメンテナンス総合委員会アクティビティ部会における地方自治体への支援活動の一環として、①インフラメンテナンスの最新の知見を学ぶ「講演会」、②舗装を中心に各自治体の悩みに直接答える「出前講座」、③自治体同士の交流により技術力向上を図る「技術交流会」を組み合わせた『インフラメンテナンス技術講習会』を土木学会主催、土木学会中部支部、土木行政事務電算化研究会、中部フォーラムの共催で開催しました。

<p>日時</p> <p>場所</p> <p>参加者</p> <p>プログラム</p>	<p>令和2年11月5日(木) 13:00~16:00</p> <p>中島屋グランドホテル3階オーリーブ</p> <p>約130名(内訳:静岡県内市町職員30名、一般オンライン100名)</p> <p>①13:00~13:10 開会挨拶 (土木学会インフラメンテナンス総合委員会アクティビティ部会 部会長 岩城 一郎)</p> <p>②13:10~13:40 講演会 (1)「情報技術を活用したインフラメンテナンス」 (岐阜大学教授 村上 茂之)</p> <p>③13:40~14:10 講演会 (2)「コンクリート橋点検時の確認事項と着目点」 (名古屋大学教授 中村 光)</p> <p>④14:10~14:50 出前講座 「県内各自治体から寄せられた質問への回答」 (土木学会インフラメンテナンス総合委員会アクティビティ部会、 名古屋大学教授 中村 光ほか)</p> <p>⑤14:50~15:00 【休憩】</p> <p>⑥15:00~16:00 技術交流会 (岐阜大学教授 村上 茂之、名古屋大学教授 中村 光、 インフラメンテナンス国民会議中部フォーラム、 静岡県内市町職員)</p> <p>⑦16:00 閉会</p>
-------------------------------------------------------------------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------



村上教授ご講演の様子



中村教授ご講演の様子



技術交流会の様子

近畿本部フォーラム

平成28年12月15日に設立し、平成30年1月の第1回フォーラムの開催を皮切りに、令和3年3月末までにフォーラムを8回、ピッチイベントを6回開催しました。さらに現地見学会を1回、実証実験を11回開催し、これらの延べ参加人数は、施設管理者432名、民間企業等1,068名となりました。

リーダー 片岡 信之
一般社団法人国土政策研究会 理事



01 近畿本部フォーラム2020

「インフラメンテナンス国民会議 近畿本部フォーラム2020」は、多くの方にインフラメンテナンスについて考えていただくきっかけを作り、産学官民が一丸となってインフラメンテナンスに取り組む社会の実現を目指し、民間企業・団体によるインフラメンテナンスに関する技術の紹介や建機・先進技術のデモンストレーションなどを行う展示会です。併せて、専門家による講演やシンポジウムなども開催しました。

日時 令和2年8月6日(木) 10:00~18:00(開場9:30)、7日(金) 9:30~17:00

場所 花博記念公園鶴見緑地
ハナミズキホール・付属展示場・花博記念ホール・鶴見スポーツセンター

参加者 5,877名(1日目 2,175名、2日目 3,702名)

参加団体

- 屋内ブース展示・カンファレンス(セミナー形式)
 - ・63ブース、76社(※共同出展社13社含む)による展示・PR
- 屋外ブース展示・6ブース(10社)による重機の展示及びそれを用いたコンテンツ
 - ・ケータリングカーによる飲食スペース
 - (新型コロナウイルス感染拡大防止のため意見交換会中止)

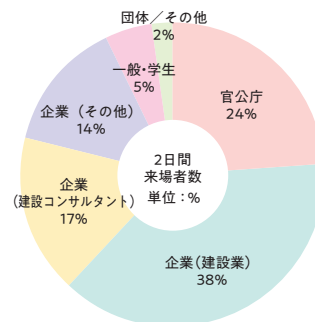


テープカットの様子

2日間の来場者数

来場者属性	来場者数	比率
官公庁	1374人	24%
企業(建設業)	2233人	38%
企業(建設コンサルタント)	995人	17%
企業(その他)	827人	14%
一般・学生	309人	5%
団体/その他	139人	2%
合計	5,877人	

※比率は端数切捨て



出展分野

出展分野	ブース数	比率
保守・監視・点検	18ブース	26%
メンテナンス/補修・補強/更新	39ブース	58%
防災・減災対策	4ブース	6%
環境保全対策	3ブース	4%
自動化/リモートコントロール	1ブース	1%
IoT、ビッグデータ、AI活用技術・システム	3ブース	4%
団体	1ブース	1%
合計	69ブース	

※比率は端数切捨て

近畿本部フォーラム

プログラム

■8月6日(木)

開会宣言 10:00～

霜上 民生

(インフラメンテナンス国民会議 近畿本部
フォーラム2020 実行委員長
(一般社団法人国土政策研究会
理事兼関西支部長))



来賓挨拶①

佐藤 寿延

(【代読】国土交通省 総合政策局
公共事業企画調整課長)



来賓挨拶②

溝口 宏樹

(国土交通省 近畿地方整備局 局長)



10:30～

「近畿地方整備局のインフラメン
テナンスの取組発表」

池口 正晃

(国土交通省 近畿地方整備局 企画部長)



10:40～

「インフラメンテナンス国民会議
近畿本部フォーラム 取組報告」

坂野 昌弘

(インフラメンテナンス国民会議
近畿本部フォーラム情報WG長
(関西大学 環境都市工学部 教授))



11:10～

「人道吊橋のメンテナンス技術
相互協力協定について」

荻原 勝也

(本州四国連絡高速道路株式会社
長大橋技術センター長)



特別講演 11:30～

「貧困化する日本」

脇 雅史

(一般社団法人 国土政策研究会 会長)



シンポジウム

基調講演 13:00～

「「橋」が落ち、「トンネル」が崩落する。～インフラ強靱化論～」

藤井 聡

(京都大学大学院 工学研究科 教授)

パネルディスカッション 14:30～

「今後のインフラメンテナンスのあり方について」

【コーディネーター】

霜上 民生

(インフラメンテナンス国民会議近畿本部フォーラム2020 実行委員長
(一般社団法人国土政策研究会 理事兼関西支部長))

【パネリスト】

佐藤 寿延

(国土交通省 総合政策局 公共事業企画調整課長)

藤井 聡

(京都大学大学院 工学研究科 教授)

佐藤 道彦

(元大阪市都市計画局長・元堺市副市長/現大阪市立大学大学院都市
経営研究科・都市政策・地域経済コース 教授)

坂野 昌弘

(インフラメンテナンス国民会議近畿本部フォーラム 情報WG長
(関西大学 環境都市工学部 教授))

河野 千代

(公益社団法人日本技術士会 理事)

■8月7日(金)

基調講演① 10:00～

「関西の元気を“かたち”にするために」

溝口 宏樹

(国土交通省 近畿地方整備局 局長)



基調講演② 11:00～

「国土交通省のインフラメンテナ
ンスの取組と今後について」

山田 邦博

(国土交通省 技監)



12:10～

「コンクリート橋のメンテナンス
～桁端部の劣化対策を中心に～」

田中 良樹

(国立研究開発法人 土木研究所 構造物
メンテナンス研究センター
(CAESAR) 橋梁構造研究グループ
総括主任研究員)



同時開催 8/7(木)13:00～

近畿管内道路メンテナンス会議

近畿地方整備局管内7府県の道路管理者が結集し基調講演、各府県道路メンテナンス会議活動報告、定期点検・修繕等の事例紹介などが行われました。

災害時の自治体支援について

大規模な災害が発生したときの自治体支援としてTEC-FORCEの派遣について紹介しました。

河川の維持管理について

直轄が管理する河川における維持管理について、事例等を用いて紹介しました。

点検支援技術性能カタログのデモおよびプレゼンテーション

02 第8回フォーラム

第8回フォーラムでは7つのテーマ(①堤防・盛土における空洞調査技術、②舗装面から対策可能な橋面防水工事の施工技術、③路面性状調査(狭い道路で車両を使用しない調査技術)、④道路法面保護施設(モルタル吹付)の地山との空洞化(密着度)やラス網の有無の調査技術、⑤常時水没している構造物点検の効率化技術、⑥流入水によるマンホール内壁面の摩耗を防止するための防護材技術、⑦水路クラックの簡易補修技術)についてそれぞれ討論を行いました。各ニーズに対し、民間企業や自治体、ファシリテーターがディスカッションを行い、各自治体が抱える課題に対する解決策の方向性を模索しました。

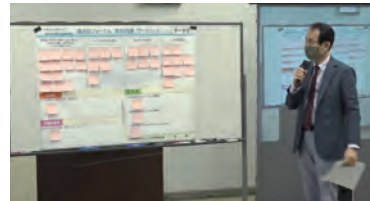
日時 令和2年10月21日(水) 13:30~17:00
場所 近畿地方整備局 第1別館内会議室
参加 81名
 (地方自治体18名、民間企業等40名、国土交通省5名、
 メンター1名、事務局17名)

プログラム

〈プログラム概要〉
 ・インフラメンテナンス国民会議近畿本部フォーラムの
 これまでの活動
 ・各テーマごとに分かれてディスカッション
 ・統括



班別討議の様子



まとめの様子

03 第6回ピッチイベント

第6回ピッチイベントでは令和2年10月21日に開催した第8回フォーラムで討議したテーマに対し、民間企業が保有するシーズ技術のプレゼンテーションを行いました。テーマは①舗装面から対策可能な橋面防水工の施工技術、②路面性状調査(狭い道路で車両を使用しない調査技術)、③道路法面保護施設(モルタル吹付)の地山との空洞化(密着度)やラス網の有無の調査技術、④常時水没している構造物点検の効率化技術、⑤流入水によるマンホール内壁面の摩耗を防止するための防護材技術、⑥水路クラックの簡易補修技術。これらの技術の提案を受けて、今後実証実験に繋げていきたいと考えています。

日時 令和2年12月17日(木) 13:00~16:30
場所 近畿地方整備局 第一別館 大会議室
参加 110名
 (地方自治体33名、民間企業等59名、メンター1名、
 国土交通省6名、事務局11名)

プログラム

〈来賓挨拶〉
 (国土交通省近畿地方整備局 企画部長 池口 正晃氏)
 〈民間企業によるプレゼンテーション〉
 〈総評〉



会議風景

近畿本部フォーラム

04 実証実験

ピッチイベントの結果、施設管理者が抱える課題解決の可能性が高いシーズについて、現地において、実験を行い、技術を検証を行いました。

第9回実証実験

日時
プログラム

令和2年10月30日(金)
 〈求める技術〉
 人道吊橋の維持管理を行うため、メインケーブルを利用した軽量の移動足場と、ワイヤーケーブル(依線)の錆が残らないケレン技術等。
 〈施設管理者〉
 十津川村
 〈実証実験実施者〉
 フルサト工業(株) /
 「レーザーを利用した剥離工法、レーザーケレンについて」
 阿南電機(株) /
 「高耐久性防食・防水テープ ウルトラワックステープ」



第9回実証実験の様子

第10回実証実験

日時
プログラム

令和2年11月11日(水)
 〈求める技術〉
 化粧パネルが施され、桁下を確認できない歩道橋において、パネルの撤去が一部で済み、内部を十分に確認できる技術
 〈施設管理者〉
 河内長野市
 〈実証実験実施者〉
 内外構造(株) /
 「狭隘部の近接目視点検を支援するカメラ技術等の活用」



第10回実証実験の様子

第11回実証実験

日時
プログラム

令和3年3月18日(木)
 〈求める技術〉
 常時水没している構造物点検の効率化技術
 護岸等の空洞化調査の技術
 〈施設管理者〉
 大阪府
 〈実証実験実施者〉
 サンコーコンサルタント(株) /
 「水中ドローン(FIFISH)の活用」
 (株)ウォールナット /
 「日本初完全ケーブルレス地中レーダを用いたドローン計測」



第11回実証実験の様子

「ちゅうごく」(中国フォーラム)

インフラメンテナンス国民会議「ちゅうごく」は、インフラという地域の資産を維持するために、行政だけではなく産官学民での連携による持続可能な維持管理や予防保全の取組が重要であるとの観点から確実かつ効率的なインフラメンテナンスの実現を図ることを目的とし、平成30年3月27日に設立しました。

リーダー 藤井 堅
広島大学 名誉教授



01 第3回ワークショップ

地方自治体(施設管理者)が抱えるインフラメンテナンスに係るニーズや課題に対し、民間企業のシーズ技術のマッチング等、解決の方向性を模索・検討する場としてワークショップを実施しました。ワークショップには、施設管理者と様々な業種の民間企業等が参加し、「ため池の点検に係るコストを軽減できる技術」や「公園内の仮設トイレへの雨水の活用」等のテーマごとに施設管理者の課題説明、民間企業等による技術の紹介、課題解決策の提案等について、活発なグループ討議が行われました。

日時 令和2年11月16日(月) 13:30~16:30
場所 岡山コンベンションセンター301会議室
参加 57名

(内訳:施設管理者7名、民間企業等18名、傍聴者11名、マスコミ1名、企画委員等20名)

プログラム

〈開会の挨拶〉

藤井 堅

(インフラメンテナンス国民会議「ちゅうごく」フォーラムリーダー)

〈ワークショップの概要説明〉

藤井 友行

(インフラメンテナンス国民会議「ちゅうごく」企画委員リーダー)

〈ワークショップ(4グループ)〉

〈ワークショップの討議結果の発表〉

〈講評〉

宮本文穂

(インフラメンテナンス国民会議「ちゅうごく」メンター

[山口大学名誉教授])

〈閉会の挨拶〉

藤原 浩幸

(国土交通省中国地方整備局企画部 事業調整官)



藤井堅フォーラムリーダーによる開会の挨拶の様子



グループ討議の様子



宮本文穂山口大学名誉教授による講評の様子

「ちゅうごく」(中国フォーラム)

02 インフラマネジメントシンポジウム2020

老朽化するインフラが急増する中、限られた予算で対応するためにはインフラメンテナンスを効率的、効果的に行う必要があります。本シンポジウムでは、橋梁の点検や維持管理の高度化・効率化に向けた技術開発を紹介するとともに、施設管理者である地方自治体が抱える課題(厳しい財政、人材の不足、技術不足)の解決に寄与し、効率的・効果的なインフラメンテナンスのあり方についてパネルディスカッションを行いました。

日時 令和3年2月26日(金) 13:30~16:30
場所 WEB開催
参加者 約220名
 (内訳:施設管理者約20名、民間企業等約200名)

プログラム

〈開会の挨拶〉
 藤井 堅
 (インフラメンテナンス国民会議「ちゅうごく」フォーラムリーダー)

内田 純夫
 (国土交通省中国地方整備局 副局長)

〈基調講演〉
 「橋梁点検・調査・維持管理の高度化・効率化に向けた技術開発」
 有井 賢次(株式会社長大)

〈パネルディスカッション〉
 「地方自治体におけるこれからのインフラメンテナンス」
 コーディネーター:
 藤井 堅 (インフラメンテナンス国民会議「ちゅうごく」フォーラムリーダー)

パネリスト:
 黒田 保(鳥取大学大学院工学研究科 教授)
 星隈 順一(国土交通省中国地方整備局 企画部長)
 北岡 宏紹(呉市役所 土木部長)
 菊地 英幸(富士通株式会社 社会システム事業本部 シニアエキスパート)
 秋田 英次(山陽ロード工業株式会社 代表取締役社長)

〈閉会の挨拶〉
 宮本 文穂(インフラメンテナンス国民会議「ちゅうごく」
 メンター[山口大学名誉教授])



シンポジウムの案内チラシ



基調講演の様子



パネルディスカッションの様子

四国 地方フォーラム

インフラメンテナンス国民会議「四国地方フォーラム」は、四国地方4県の自治体および建設コンサルタントが主体となり、平成29年12月26日に設立されました。自治体の課題に対し、民間企業が解決策となる技術を提案し、議論を深めて支援していきます。

リーダー 矢田部 龍一
愛媛大学防災情報研究センター 特命教授



01 インフラメンテナンス国民会議 第2回四国ピッチイベント

四国地方フォーラムでは、点検技術の実装事例報告、点検における新技術の活用事例、及び要望がある技術の発表により、最新の技術やノウハウ・シーズ技術を広く共有し、インフラメンテナンスに係る新技術の実装と地方自治体への支援等を図ることを目的に開催しました。

日時	令和2年8月25日(火) 13:00~15:00
場所	オンライン開催
参加	約160名(内訳:(行政)徳島県、香川県、愛媛県、高知県、地方公共団体及び四国地方整備局 (大学)愛媛大学 矢田部特命教授、吉井教授 (民間企業他)四国内のコンサルタント、建設業企業等)
プログラム	〈開会挨拶〉 愛媛大学 矢田部教授 〈最新の情報提供〉 ・「点検支援技術 性能カタログ(案)」について 四国地方整備局 道路部 〈事例報告〉 ・道路トンネルの定期点検における点検支援技術の活用について 〈ピッチイベント〉 ・路面性状を簡易に把握可能な技術 ・橋梁の塗替えの効率化 〈総括及び閉会挨拶〉 愛媛大学 吉井教授



四国地方整備局からの情報提供の様子



事務局で説明をしている様子

02 学生等の現場見学会

四国地方フォーラムでは、インフラメンテナンス時代のリーダー育成を目指す取り組みとして、技術系学生や技術者が橋梁点検における新技術の導入を現場で体験することにより、新技術の有効性を認識して頂くことを目的に、橋梁点検の見学会を開催しました。

日時	令和2年8月27日(木) 14:00~15:10
場所	国道11号 多度津高架橋(香川県多度津町)
参加	19名 (内訳:香川高等専門学校生、コンクリート診断士会会員等)
プログラム	〈高架橋の現場を見学〉 ・橋梁点検の概要 ・従来技術を利用した橋梁点検 ・ロボットカメラ利用による新技術の概要説明及び、タブレットによる実演・確認等



香川高等専門学校生等の見学状況



高所作業車による点検を見学中の様子

四国 地方フォーラム

03 シンポジウム ～災害時におけるME・道守の役割～

愛媛大学が「災害時におけるME・道守の役割」と題したシンポジウムを開催しました。

近年、激甚化し毎年のように頻発する豪雨災害、さらに南海トラフ地震による地震災害の可能性も年々高まっています。

そのような時代にあって、社会基盤メンテナンスエキスパート（ME）や道守が果たすべき役割は、社会基盤メンテナンスの枠組みを超え、災害から復旧・復興にまで広がっています。

日時
場所
参加者
プログラム

令和3年1月15日（金）10:00～12:00

オンライン開催

約70名（内訳：各地域のME、大学、行政）

〈講演〉

・「豪雨災害とME」

〈活動紹介〉

・各地区

（岐阜ME、愛媛ME、長崎道守、ME山口、ME新潟、舞鶴高専iMec）

〈代表者等によるディスカッション〉

・「～ME・道守の目指す道～」



開会挨拶（愛媛大学 森脇亮先生）の様子



講演「豪雨災害とME」の様子



ディスカッション「～ME・道守の目指す道～」の様子

九州フォーラム

平成30年1月17日に設立し、九州内の公共インフラの維持管理に関する自治体支援、技術開発推進に向けた情報交換やベストプラクティスの水平展開及び取組のマッチング等により、様々な課題の解決を目指し、活動しております。

リーダー 日野 伸一
大分工業高等専門学校 校長



01 第4回ピッチイベント 『シーズの生長、そして市民参画』

これまでのピッチイベントでは、「自治体からのニーズ」と「民間からのシーズ」のマッチングによる課題解決に取り組んでまいりましたが、今回のピッチイベントでは、近年頻発する自然災害を踏まえ、「防災対策」や「市民参画」による課題解決に向けた取り組みを紹介しました。

パネルディスカッションでは、九州特有のインフラ施設である石橋について、保存・活用に携わる関係者(大学、道路管理者、市民)に討議いただき、保全・活用に関する取り組みや課題の共有化を図りました。

日時	令和2年10月21日(水) 13:00~17:00
場所	福岡国際会議場
参加 プログラム	169名(内訳:国・地方自治体27名、民間企業等139名、学校関係者3名) 1.開会挨拶 2.基調講演「防災とメンテナンスの関連性」 3.パネルディスカッション「石橋への愛着、思いやりからの市民参画」 4.防災に関する最近の話題 5.テックシニアーズの設立と紹介 6.ピッチイベント長崎の案内 7.閉会挨拶



フォーラムリーダー挨拶の様子



パネルディスカッションの様子



ピッチイベントの様子

沖縄フォーラム

沖縄フォーラムは、平成30年3月5日に準備会での議論のうえ、平成30年3月22日に設立しました。自治体が抱えるインフラメンテナンスの課題を克服するために、産学官民が一丸となって解決に取り組んでまいります。

リーダー 有住 康則
琉球大学 名誉教授



01 新しい日常に対応するインフラの在り方 -Withコロナ、Afterコロナ-

シンポジウムでは、国土交通省が示す“新しい日常に対応するための当面の道路施策(ウイズコロナの道路施策・ポストコロナの道路施策)”を概観するとともに、新型コロナウイルス感染拡大が引き起こした県民の行動変化(国際通り、沖縄都市モノレール)を踏まえ、Withコロナ、Afterコロナ時代のエリアマネジメントの在り方を見ていきます。また、道路の利活用や観光支援、安全・安心な公共交通、空港・港の利用等、幅広い視点からWithコロナ、或いはAfterコロナ時代のインフラの在り方について考えていきます。

日時
場所
参加者
プログラム

令和2年11月6日(金) 13:30~16:40

那覇市 パレット市民劇場

約97名(内訳:行政29名、団体8名、民間60名)

〈基調講演〉

・Withコロナ、Afterコロナ時代に対応するインフラの方向性を考える
清水 哲夫(東京都立大学 都市環境学部 教授)

〈テーマ講演〉

・ビッグデータから見るコロナ前後の行動変化

神谷 大介(琉球大学 工学部工学科 准教授)

〈トークセッション〉

・コーディネーター 有住 康則(琉球大学 名誉教授)

・パネリスト 清水 哲夫(東京都立大学 都市環境学部 教授)

神谷 大介(琉球大学 工学部工学科 准教授)

石坂 彰啓(那覇市国際通り商店街振興組合連合会事務局長)

仲村 守 (沖縄都市モノレール(株) 常務取締役)

和田 賢哉(内閣府沖縄総合事務局開発建設部企画調整官)

島袋 善明(沖縄県土木建築部土木整備統括監)



基調講演の様子



テーマ講演の様子



トークセッションの様子



INFRASTRUCTURE MAINTENANCE PHOTO GALLERY

写真協力 山崎エリナ 〈写真家〉

兵庫県神戸市出身・平成7年渡仏。フランス・パリを拠点に3年間の写真活動に専念する。40カ国以上を旅して撮影。エッセイを執筆。帰国後、国内外で写真展を多数開催、雑誌、雑誌連載、広告、映像などで活躍。海外での評価も高く、ポーランドの美術館にて作品収蔵など幅広い活躍をしている。



